

令和7年度口腔保健指導者研修会 実施要領

～次世代に向けた歯・口腔の健康づくりの推進～

1. 目的

少子化・高齢化の進展、総人口・生産年齢人口の減少、独居世帯の増加など、現在の超少子高齢社会において様々な問題点が挙げられる中、全ての県民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会を実現するとともに、県民の誰もがより長く元気に暮らしていくための基盤として、健康の重要性がより高まっています。その中で、口腔の健康と全身の健康の関連性について、口腔衛生状態と誤嚥性肺炎との関係や歯周病と糖尿病等の基礎疾患との関係等が指摘されています。口腔の健康が全身の健康や生活の質（QOL）の向上に寄与することを踏まえ、生涯にわたる歯・口腔の健康を維持することは不可欠です。

歯科口腔保健の推進を適切かつ効果的に行うためには、生涯にわたる歯科口腔保健を推進し、乳幼児期、青年期から高齢期等にわたる人の生涯における様々なライフステージごとの特性を踏まえつつ、幼少期の口腔機能の発達から高齢期のオーラルフレイル対策や口腔機能維持・向上に至るまで、歯・口腔の健康づくりに積極的に取り組む必要があります。加えて、現在の歯・口腔の健康状態は、これまでの自らの生活習慣や社会環境等の影響を受ける可能性や、次世代の健康にも影響を及ぼす可能性があります。こうしたことを踏まえ、胎児期から高齢期に至るまでの人の生涯を経時的にとらえた健康づくりをいうライフコースアプローチに基づく、歯・口腔の健康づくりを推進することが重要と考えます。

本県の80歳で20歯以上有している人の割合は令和4年度61.8%となっており、年々増加傾向にあります。一方、40歳で歯周病を有する人は、令和4年度53.4%と高い状況が続いており、改善に向けた継続的な取り組みが必要です。また、60歳以降は咀嚼機能で注意が必要な人の割合が高くなっており、オーラルフレイルがフレイルにつながることから、定期的に歯科健診を受診して早期に発見し対応することが重要です。

そこで、県民の生涯にわたる口腔健康管理を行政、医療、教育・福祉、介護関係など歯科保健医療に携わる関係者が正しい知識を共有するとともに、それぞれが担うべき役割を十分に認識し、連携しながら効果的かつ安定的に取り組むかを考えていくために、「次世代に向けた歯・口腔の健康づくりの推進」をテーマに本研修会を開催いたします。

2. 日時

令和8年1月29日（木）13：30～15：30（開場13：00～）

3. 場所

岐阜県歯科医師会館 4階第1会議室およびWEB配信

〒500-8486 岐阜市加納城南通り1-18

TEL／058-274-6116

4. 主催

公益社団法人岐阜県歯科医師会

5. 後 援

岐阜県口腔保健協議会

6. 対象者

医療関係：医師、歯科医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士など

学校関係：養護教諭、保健主事、栄養教諭

行政関係：県の保健関係者、保健所、保健師、市町村保健担当者

介護関係：ケアマネジャー、介護福祉士、その他介護関係者

その他関係者指導者：栄養士、幼稚園教諭、保育士、保険者など

7. 日 程

1) 開 会 [13:30]

2) 主催者挨拶

3) 講 演 [13:45～15:15]

『L8020 乳酸菌と Etak ってご存知ですか?』

二川 浩樹 先生

[広島大学大学院医歯薬学総合研究科 口腔健康科学専攻 口腔健康科学講座 教授]

講演要旨／う蝕や歯周病などの原因であるプラークは、歯の表面に形成されるバイオフィルムであり、その形成には、①口腔内の微生物同士の相互作用、②修復物などの成分や表面の性質、③生体の反応や浸出液などの生体成分の3者の相互作用が関わっています。最近、逆にこれらを利用してバイオフィルムの抑制を行うことを考え、色々な取り組みの中で、う蝕や歯周病あるいは感染症などのリスクを下げることでできるいくつかの製品の研究・開発についてご紹介いたします。

4) 質疑応答 [15:15～15:30]

5) 閉 会 [15:30]

8. 参加申込み

<https://tinyurl.com/268cwa9cj>

※締切 令和8年1月23日(金)

